

オーツ麦の 栽培方法

カナダでは、オーツ麦のほとんどが家族経営の農場で栽培されています。その多くが、土地と強いつながりを持って生活し、複数世代にわたって農業を営む農家です。オーツ麦の栽培には細やかな気配りが必要で、カナダ産の最高品質オーツ麦は、その色、重さ、健康上のメリットが高く評価されています。

では、オーツ麦農家はどのようにそれを行うのでしょうか？



土地の準備



カナダでは、保全耕起が一般的に行われています。これは、ほとんどのオーツ麦が、前年そこで栽培された作物の刈り株が残っている畑に播種されることを意味します。この方法には、土壌侵食の減少や大気質の改善など、環境面で大きな利点があります。作物残渣とも呼ばれる作物の茎と根を畑に残すことにより、風食と空気中のほこりを減少させます。その結果、より多くの炭素が有機物に保持されるため、大気中に放出される二酸化炭素量も削減できます。また、この方法は土壌の保水力を向上させ、雑草を減らします。刈り株自体は、鳥や小動物などの野生生物に避難所を提供します。

播種



通常、刈り株が残っている畑に直播が行われます。これにより、トラクターからの化石燃料の排出量と畑での移動回数が削減されます。種子は最新型の農機により適切な深さで土壌に植えられるため、オーツ麦は成長の良いスタートを切ることができます。最高品質の種子を使用することにより、カナダ産オーツ麦の収量が増加しました。さらに、この高品質の作物はβ-グルカン（心臓の健康に良い繊維）をより多く含むため、オーツ麦を食べることの健康上のメリットも増大しました。

作物への気配り

オーツ麦は、カナダの大草原に見られるような冷涼な気候でよく育ちます。農家は早めに播種を行って、夏の生育期を最大限に活用しようとします。また、オーツ麦がゴミや雑草のない良好な土壌で生育できるよう、適切な播種密度で種を播きます。



オーツ麦の収穫

作物の収穫期は、農家にとって大変忙しい時期です。農家は一年を通して非常に良く働きますが、この時期は特に多忙になります。オーツ麦の品質が最高潮に達するときに、ぴったりのタイミングで刈り取りを行うことが重要なのです。一部の農家はウィンドローワー（北米ではスワザーと呼ばれる機械）で全体を刈り取り、その後、植物の残りの部分からオーツ麦を分離するコンバインを使って収穫します。この装置により、水分を多く含み、ふっくらと豊かですぐに市場に出せる作物の収穫が容易になります。

オーツ麦の保存

カナダの農家は、穀物貯蔵に多額の投資をしています。ですから、収穫した穀物を、自己の農場に設置された膨大な収納スペースの穀物貯蔵庫に貯蔵することができます。場合によっては、収穫物をすぐに市場に出荷することもあります。大草原のあちこちに設置された堅牢な貯蔵施設と製粉施設を使用することができます。カナダを世界最大のオーツ麦輸出国の一つに位置付けているのは、このような運営と施設です。

播種から収穫に至るまで、カナダのオーツ麦は、家族のために美味しい食事を作るときと同じ気配りで、真心こめて育てられます。なぜなら、生産者の家族も、自分が育てたオーツ麦を食べるからです。



オーツ麦の美味しいレシピと情報については、 www.poga.ca をご覧ください。